

「今はどこを向いている？」
～マーケットの最先端から訊きました～

市場の長針・短針



MAURICE LACROIX
スクエアホイール“キューブ”
MP7158-SS001-909

ダイヤルのシルバーの部分はどこに焦点をおいてもキューブに見える特殊な細工。黒い部分はブラックホールをイメージしていて、その中にはクローバー型と四角い歯車が常にかみ合いながら回転している。シンプルだけど現代アートを感じさせるモデルだ。搭載するのはCal.ML156という自社ムーブメント。2014年秋モデル。SS。自動巻。新品。172万8000円



MAURICE LACROIX
ポントス クロノグラフ
“FCバルセロナ”
PT6008-88002-431N



モーリス・ラクロアは2014年からスペインのFCバルセロナとパートナーシップを締結。このポントス クロノグラフは、FCバルセロナなどのコラボモデルで、メッシュやネイマールも公式行事で着ける。上リユーズのトップを回すことで、インナーベゼルが操作できる。ダイバーズ風にも使える3レジスタークロノグラフ。SS。自動巻。新品。46万4400円

「お客様のおひとりおひとりに、それぞれ喜んでいただけるように、バラエティが豊富で、

東京・江戸川区のハナジマは、時計と宝石の店。創業は1957年というから、60年近い歴史がある。

ハナジマは基本的に通信販売はしていない。そう書く「店まで行かなければならないのか」と感じる人がいるかもしれない。が、いぢどもハナジマに足を運んでみれば、その理由がわかる。

本当に「いい時計」を環境の整った店で買う

通が好む
粋な最新モデル

ロレックスを卒業した
人たちが選ぶ腕時計



ハナジマ
花島素人 社長

花島社長は自他ともに認める腕時計“通”だ。年代もののクレドールや、もちろんロレックスも所蔵しているが、今いちばんのお気に入りと言うと、このコラム。アドミラルズカップ42のオートマチック。「適度なサイズ感と、全体的に淡い虹色になる黒蝶貝ダイヤルがいいですね」と言う花島さんは「宝石のプロとして、このごろのコラムのダイヤ選定は素晴らしい」と、ベゼルインデックスのダイヤモンドの美しさもほめている。



ますます成熟していく一方の腕時計ブーム。老舗時計店のハナジマには、満足度の高い腕時計を探して、時計好きが集まってくる。その人たちが「本物志向」で選んでいる腕時計は、実に多彩。20万円前後から2000万円オーバーまで、人気の腕時計には、すごい「何か」を持っているという共通点がある

SHOP Information



ハナジマ

〒132-0025
東京都江戸川区松江7-11-3
TEL: 03-3652-8740
http://hanajima.com
営業時間: 10:00 ~ 20:00
定休日: 火曜日



CORUM
アドミラルズカップ
AC-ONE 45 タイド01
A277/02401

コルムのCal.CO277というムーブメントには、潮汐時刻、潮汐振幅、太陰周期、潮の大小、潮位を測るタイドグラフ機能がある。ジュネーブ天文台やフランス海軍海洋研究機関と共同で、数年かけて開発した。12角ベゼルや海洋旗インデックスなど、コルムらしさを踏襲する一方で、チタン素材やタイドグラフといった先進性もあわせ持つマリノウォッチ。ケース径45mm。2014年発表。Ti×ラバー。自動巻。新品。127万4400円



CORUM
アドミラルズカップ レジェンド42
トゥールビヨン マイクロローター
A029/01395

12角ベゼルと海洋旗がアイデンティティの、コルムのハイエンドクラス。正面からは6時位置のウィンドウでトゥールビヨンの動きが見える。シースルーバックの裏面は、トゥールビヨンの機械の動きがよく見えるように、小さな自動巻用ローターを採用していることがわかる。世界15本限定。K18PG。自動巻。新品。831万6000円



MAURICE LACROIX
マスターピース スケルトン
“FCバルセロナ”
MP7228-PVB01-002

表裏シースルーで、ムーブメントも構造躯体もすべてまる見え。43mmのラウンドケースはマッドブラックのPVD仕上げ。表面9時位置には針だけのスモールセコンド。裏面からはパートナーシップを結ぶFCバルセロナのエンブレムが覗ける。2014年モデル。SS(BPVD)。手巻。新品。70万2000円



「気になる腕時計をご覧になりながら、気持ちよく過ごしていただくことができれば、われわれとしても、うれしいことなんです。」

なるほどハナジマで過ごす時間は心地いい。しかも舶来、国産のエントリークラスからハイエンドモデルまで、さまざまな価格帯の腕時計が揃っている。しかも売れ筋中心のショップではなかなか扱わない新進ブランド、気鋭メーカーの腕時計も、ハナジマでは「プロの目で見ても納得ができれば」という条件付きで、取り扱っている。

だからハナジマには関東のみならず東北や関西から定期的に訪ねてくる常連も多い。電車を利用して店を訪ねるとき、ハナジマの最寄駅からのタクシー代をハナジマが負担してくれる、なんていうちょっとしたサービスも、うれしかったりする。

そうはいいながらも、もちろんハナジマにはマニュアルで決まっているサービスもある。

ハナジマで購入した腕時計には10年間の長期保証がついている。今ならクレンジットを使用する場合にも、特別なプランが用意されており、3000円を越える買い物なら50回まで分割手数料をハナジマが負担するというもの。当然オーバーホールや修理のシステムも整っているの、長い付き合いができるのもいい。

ティに富んだ品揃えと、マニュアルじゃないサービスが心にかけているだけです。」

ハナジマの花鳥素人社長が話すように、スタッフはまるでコンシェルジュのようだ。時計選びで迷っていたり困っている人は、なむさら、こういうショップとつきあっている、いいチョイスができるだろう。



GIRARD-PERREGAUX
ジラルール・ベルゴ 1966
49525D52ABD2-BK8A

発表は2013年だけど本格的な日本導入は2014年から。近年パーティーや華やかな場所に使用する機会が増えオシャレな男性がドレスウォッチとして愛用する方が多い。ピンクゴールドの華やかなケース。ベゼルとシェルダイヤルのオフセンターに半円状にセットしたダイヤルのデコレーションが上品なキラキラ感。K18PG。自動巻。新品。264万6000円



GIRARD-PERREGAUX
ヴィンテージ 1945 スリーゴールドブリッジ・トゥールビヨン
99880-52-000-0

ジラルール・ベルゴ「オート・オルロジュリー」コレクションの中でも破格の存在なのが、このスリーゴールドブリッジ・トゥールビヨンだ。税抜2000万円弱という価格も驚きだが、この腕時計にはジラルール・ベルゴのマニファクチュールとしての意地と経験と技術が、これでもかと込められている。全世界での限定数がわずか50本。発注から受け取りまで、数ヵ月はかかるとか。もちろん手作りだ。K18PG。自動巻。新品。2155万6800円

GIRARD-PERREGAUX
ヴィンテージ 1945XXL
25882-11-121-BB6B

1945年に発売され大ヒットとなったアールデコデザインのジラルール・ベルゴへの回帰がヴィンテージ1945のテーマ。より現代的に解釈しなおしたネオレトロのヴィンテージ1945が人気。写真の腕時計はケースサイズが縦36.10mm×横35.25mm×11.74mm。12時位置にラージデイト、6時位置にムーンフェイスを備えている。シリーズ中でもハイライン。SS。自動巻。新品。146万8800円



**時計の「通」が好む
 本心に欲しい時計**

インタビュール中、ハナジマの花鳥素人社長が「ちょっとロレックスはブームになりすぎちゃったかなあ」と話していたのが気になった。

「ロレックスは間違いのない時計だとは思いますが、みんな持っているし、定価もかなり上がって……」

花鳥社長はそれ以上は言葉にこず。が、実際にハナジマの常連の中で時計に詳しいユーザーほど、ロレックスを除いたブランドに注目しているらしい。

例えばハナジマの秋のフェアでは、コルムの100万円前後以上のモデルが、ずいぶん好調だった。

「コルムの場合は、親密なお付き合いがあるので、ハナジマだけのスペシャルな提案ができることも、人気の秘密ではあるんですが」

限定モデルだけではない。最新のバーゼル発表モデルも、ハナジマにはかなり早い時期に届く。

「コルムは12角ベゼルや海洋旗のようなアイデンティティを持っていて、しかも機械や仕上げがしっかりしています。さらに何かおもしろいことをフランスしてきますから、人気になることもうなずけます」

また社長は「ジラルール・ベルゴも人気がありますね」と言う。

「ジラルール・ベルゴは、まず機械を見てほしいです。細部まで美しい仕上がりです。小さなビスがしっかり閉めてあるのに、ドライバーで閉めた痕跡がまったくない、そんなことにも気づかされます。職人さんたちの繊細で確かな技術の賜物です」

それがハナジマを訪れる時計好きに



CARLO FERRARA
クアドロ
510.182/110

カルロフェラーラオリジナルの自社設計ムーブメントは向かって右が時、左が分をそれぞれ指す……だけじゃない。それぞれの針はまるで踊るように上下左右に動きをかえるから“ダンシングレギュレーター”と呼ばれる。普通の腕時計に飽きてしまった人や個性を主張したい人にはぴったり。サイズは縦42mm×横37mm。SS。自動巻。新品。76万6800円



SEIKO
クレドール シグノ・クロノグラフ
GCBK979

クレドールはセイコーのハイエンドシリーズのひとつ……というより世界で認められた超高級ブランド。美しく仕上げたダイヤルにインデックスのプレートを組み合わせたシグノの中でも、この腕時計は30分/12時間積算計を持つクロノグラフ。濃紺のダイヤルに合せた濃紺のベルトはさりげなく時計を際立たせる。SS。自動巻。新品。43万2000円



SEIKO
ガランテ“FCバルセロナ”
SBLL021

モーリス・ラクロアの前、FCバルセロナとパートナーシップを結んでいたのが日本のセイコーだ。今大人気のガランテから世界限定350本として発売したのが、この腕時計。日本国内ではわずか83本だけの販売。この機会を逃すと二度と手に入らない希少なモデル。腕時計ファンならずとも、サッカーファンにとっても大変貴重な存在。45mmの独特なデザインのベゼルには“FC BARCELONA”の刻印。ダイヤルはチームフラッグがモチーフで、バックケースにもチームエンブレムが刻まれる。SS。45mm。自動巻。新品。54万円



TERRA CIELO MARE
マンチーノ
TC7016AC3PA/21

テッラ（大地）、チェロ（空）、マール（海）でテッラ・チェロ・マール。2001年にイタリアの大物時計商ふたりが共同で立ち上げたブランド。このマンチーノは空の人気シリーズのひとつで、2014年からの新製品。写真では1匹隠れてしまっているけれど、イタリア空軍に伝わる「幸運の3匹のネズミ」が目印。ちなみにマンチーノとはイタリア語で「左利き」を意味する。ケース径44mm。SS。自動巻。新品。48万6000円



CITIZEN
カンパノラ 魂耀
BZ0030-16F

カンパノラはシチズン時計のハイエンドシリーズ。この腕時計ではダイヤルの一部に螺鈿細工の漆塗りを使うなど、和テイストを採り入れたデザインが多い。搭載するCal910はエコドライブで、3時位置に24時間時計、6時位置に針指し式のデイト、上1/4にはレトログレード式の曜日、さらに8時位置に積算計があるクロノグラフでもある。しかもミニッツリピーター（目覚まし）も付いたブランドコンプリケーション。2014年の新色。SS。クォーツ。新品。43万2000円

専門店スタッフのお気に入り腕時計



ハナジマ
川合勝城 さん



「コルムはもともといい時計を作るブランドですが、特に最近では高品質で華のある腕時計を作るので、お客様に安心しておすすめできますね」と話す川合さんが着けているのは、アドミラルズカップ44クロノグラフ。「スタンダードなモデルでも、12角ベゼルや海洋旗のインデックスなど、ひと目でコルムだとわかりますよね。それに細かい細工が施されていて、1本1本違いに作られている感じが伝わってきます」というのが、お気に入りのポイントだ。

はわかっていながら、人気があるのだから。
ところでハナジマの品揃えは、舶来時計に偏っていない。
「世界では日本のブランドも、かなり評価が高いんですよ」
花鳥社長は、かねてからそう言い続けてきた。それがいよいよ浸透してきたようで、セイコーやシチズンに目を向ける人が増えている。
「これからも偏らずに、幅広く『いい時計』を紹介します」
そう話す花鳥社長こそ「粋」な時計をこよなく愛する「通」なのだ。